

健康情報コラム

その風邪に抗生物質は効きますか？

埼玉県立大学健康開発学科 村井 美代

くしゃみや鼻水など風邪の症状に悩まされていますか。そのような時は栄養と休養が一番の薬ですが、忙しいときにはなかなかそうはいきません。早めに病院で抗生物質を処方してもらおう、という方もおられるでしょう。でもその抗生物質、本当に風邪に効くのでしょうか。

一口に風邪といってもさまざまなウイルスや細菌が原因

となりませんが、鼻風邪は98%、咽頭痛や下気道症状でも90%はウイルスの感染によるものと言われています。残念ながら抗生物質はウイルスには無効で、つまり風邪には効かない場合が多いのです。

インフルエンザは効果的な薬があるウイルス感染症ですが、呼吸器症状に先立ち熱が上がるなど特徴的な症状の場合、早めに医療機関でイン

フルエンザの検査を受けましょう。残念ながらインフルエンザ以外の風邪ウイルスには効果的な薬がありませんが、3日〜4日もすれば快方に向かうことが多いようです。

症状が長引く場合は、最初がウイルス感染でも炎症の原因が細菌に代わることもあるので、病院で検査を受けてください。原因菌が特定されその菌に効く抗生剤が処方されたら、薬は完全に飲みきることが大事です。症状が治まったからといって服用をやめ、余った薬を次のためにとっておいたり他人に譲ったりなどはやめましょう。

必要のない抗生物質の使用は、知らないうちに体内に抗生物質の耐性菌が居ついてしまい、その菌を周囲の人につけてしまうおそれがあります。薬剤耐性菌による感染症が発症すると、治療に使える抗生物質がなく、回復は本人の免疫力頼みとなります。日本では病院で分離される肺炎球菌や黄色ブドウ球菌のほぼ半数が薬剤耐性菌で、世界的に見ても高い割合になっています。しかし、増えてしまった薬剤耐性菌は抗生剤のむだづかいを抑え減らすことができます。ことも分かっています。